

背景

社会
国
県

- Society 5.0、第4次産業革命の到来
- 生産年齢人口の減少
- 新型コロナウイルスによる未曾有の経済危機
- 「デジタルニューディール」の推進
- 新高等学校学習指導要領(令和4年度入学生から)
- 「GIGAスクール構想」の実施
- 人口減少・少子高齢化の進行
- 公立中学校卒業生数の減少
- 魅力ある県立高校づくりの観点からの県立高等学校再編整備の必要性

定義

本県の魅力ある商業教育

「新しい時代のニーズに応え、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成し、実社会につながるビジネス教育」

新しい時代のニーズに応える職業人の育成による本県商業教育の活性化

1 本県商業教育の現状と課題

(1) 商業教育の現状

- ア 商業に関する学科を設置している高等学校の配置
- イ 生徒募集
- ウ 教育課程の編成
- エ 進路指導
- オ 研究団体の取組

(2) 商業教育の課題

- ア 生徒募集
- イ 教育課程の編成
- ウ 進路指導

2 魅力ある商業教育を推進するための方策

(1) 実践的な教育課程の編成

- ア 時代のニーズに応える教育課程の編成及び指導内容の充実
 - マーケティング分野、マネジメント分野の科目の履修編成
 - 4分野をバランスよく学べる教育課程編成
 - 指導内容、学習教材等に全校統一の一定の枠組みを設定
 - 協調学習やPBLの導入による資質・能力の育成
- イ 地域社会と連携した取組
 - 「コミュニティ・スクール」の導入による地域連携の一層の強化
- ウ 企業等と連携した取組
 - インターンシップ、デュアルシステムの単位認定の導入
- エ 高等教育機関と連携した取組
 - 単位認定等を含めた包括的な連携協定の締結
- オ 学校間・学科間で連携した取組
 - 学びを共有・融合し連携・協働する取組の推進

(2) ICT環境整備等の充実を踏まえた取組

- 情報リテラシーを育成する視点でのICT環境活用事例の検討
- 各学校の特色化のためのICT環境の弾力的な整備

(3) 専門性の高い指導者の養成・採用

- マーケティング分野、マネジメント分野に関する悉皆研修制度の構築
- 企業のマーケティング部門や大学・大学院での長期研修の設定
- 「プログラミング」についても同様の研修を実施
- IT企業のエキスパート等の外部人材の活用及び特別選考による採用

(4) 「目指す学校像」等の見直し、「スクール・ポリシー」の策定

- 学校設立の経緯や社会・地域の状況を踏まえた「目指す学校像」の見直し及び学校内外への共有
- 入学から卒業まで一貫性があり組織が一体となった教育活動を展開するための「スクール・ポリシー」の策定

(5) 魅力ある商業高校づくり(適正配置等)

- 単独校及び併置校の適正な配置の研究・検討
- 商業高校のフラッグシップ校となる拠点校の整備
- 各学校の位置付け、ニーズ及び卒業後の方向性の明確化
- 時代のニーズを考慮した適切な学科名への改編・整理